

BUSINESS REPORT

第93期 報告書

2022.1.1 ▶ 2022.12.31

市光工業株式会社





当連結会計年度における我が国経済は、歴史的な円安水準やウクライナ情勢の影響を受けた資源価格の高騰など、国内企業物価の上昇から生産には持ち直しの動きに足踏みがみられ、企業収益は一部に弱さがみられるものの、企業の景況感判断は改善いたしました。世界経済においては、米国では景気は緩やかな持ち直しが続いているものの、金融引締めに伴う影響による下振れリスクが懸念される状況となりました。中国では、新型コロナウイルス感染再拡大の影響により、持ち直しの動きに足踏みがみられました。アセアンにおいては、インドネシアは緩やかに回復しており、販促強化による自動車販売台数の増加や部品の供給制約が緩和されたことから、新車の販売は好調に推移しました。タイの景気も持ち直し、マレーシアも生産の拡大は世界的な半導体需要の減速などにより一服したものの、内需主導で緩やかな回復が続きました。当社グループが属する自動車業界におきましては、中国政府の活動制限による部品の供給制約影響などから、日本国内の自動車生産台数は前年とほぼ同水準となりました。また、中国の生産台数は前年比で若干増加したほか、アセアンの自動車生産台数は、マレーシア、インドネシアが前年比で大幅なプラスとなった影響もあり、タイを含めた3か国合計では、前年比で大幅増となりました。

このような環境のもと、当連結会計年度においては、主力の日本国内の市場に対し当社単体の売上高の増減率は下回りました。しかしながら海外は、新製品立ち上げ効果などによりアセアン3か国の市場成長率をアセアン子会社3社の売上高の増加率が大幅に上回った結果、当連結会計年度では、売上高は135,451百万円（前年同期比7.9%増）と増収となりました。営業利益は経費削減や生産性の向上はあったものの、原材料費やエネルギー価格の高騰や為替の影響などから3,937百万円（前年同期比29.2%減）、経常利益は持分法による投資利益1,575百万円の計上などもありましたが、5,351百万円（前年同期比17.8%減）と減益となりました。一方、親会社株主に帰属する当期純利益は一部の海外子会社での繰延税金資産の計上などにより4,423百万円（前年同期比11.1%増）と増益となりました。

配当につきましては、当社は、(1)内部留保を活用した研究開発および設備投資により企業価値の向上を図ること、および

び、(2)株主の皆さまに対する利益還元の上を向上を図っていくこと、これら(1)(2)の双方を達成することを経営の重要課題と考えております。かかる基本方針に基づきまして、2022年12月期の配当につきましては、中間配当は株主の皆さまへの利益還元を継続する観点から1株当たり4円50銭とさせていただきます。期末配当につきましては、厳しい競争環境を勝ち抜く競争力を確保するために旺盛な技術開発の資金需要があることなどを総合的に考慮し、1株当たり4円50銭とし、年間配当は9円とさせていただきます。

次期の見通し

2023年12月期の業績予想につきましては、原材料価格の高騰、半導体需給の逼迫などによるサプライチェーンへの影響など、自動車生産の市場動向は予断を許さない状況が続くほか、ミラー事業の譲渡に伴う収益への影響が見込まれる一方で、新規受注や日本およびアセアン地区における生産の回復を見込むほか、価格転嫁、徹底したコスト削減、生産性向上などの効果もあり、売上高は138,200百万円、営業利益は6,000百万円、経常利益は7,500百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は5,500百万円と増収増益を予想しております。

2023年12月期の配当に関しましては、増収増益の見通しなどを総合的に勘案し、2022年12月期の9円から2円増配の年間配当11円を予定しております。

株主の皆さまにおかれましては、より一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長 Christophe Vilatte(ヴィラット クリストフ)

連結財務ハイライト

売上高	135,451百万円
営業利益	3,937百万円
経常利益	5,351百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	4,423百万円

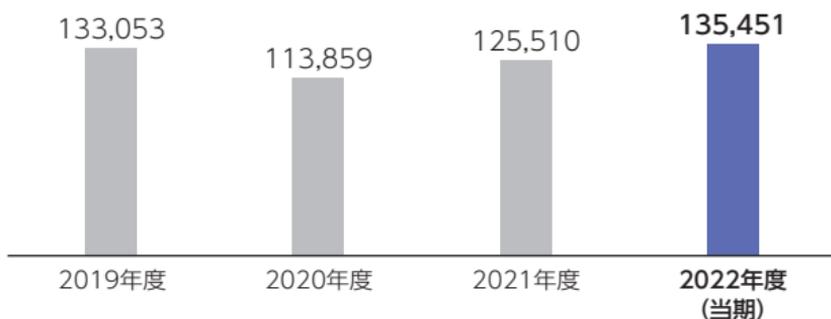
配当

期末配当	4円50銭
------	-------

連結財務の推移

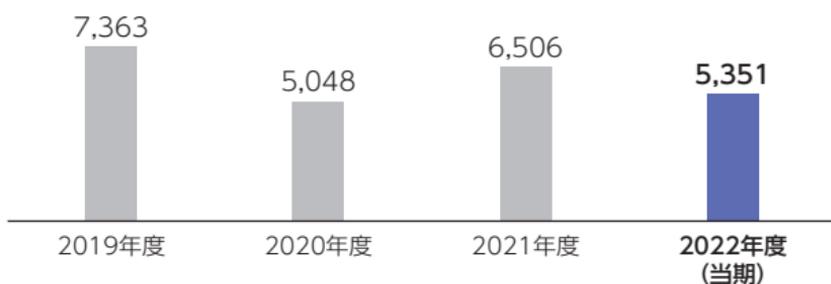
売上高

(単位：百万円)



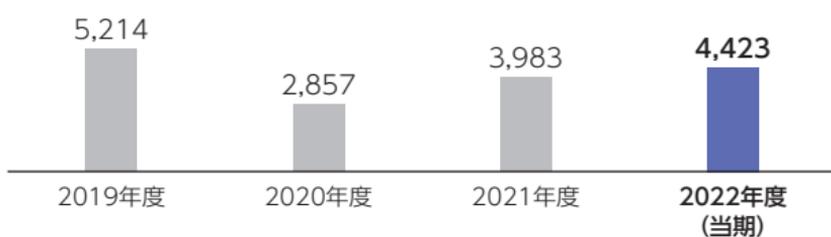
経常利益

(単位：百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益

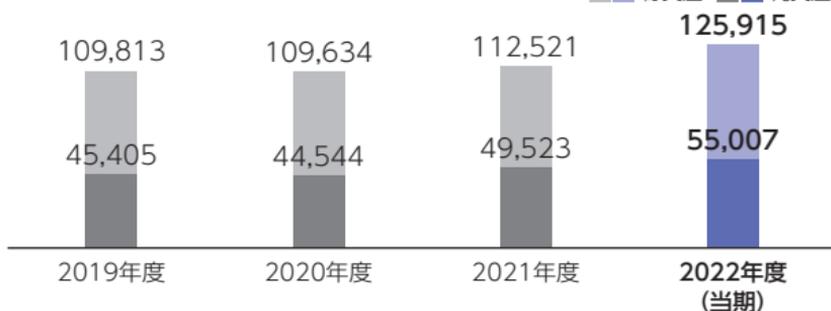
(単位：百万円)



総資産・純資産

(単位：百万円)

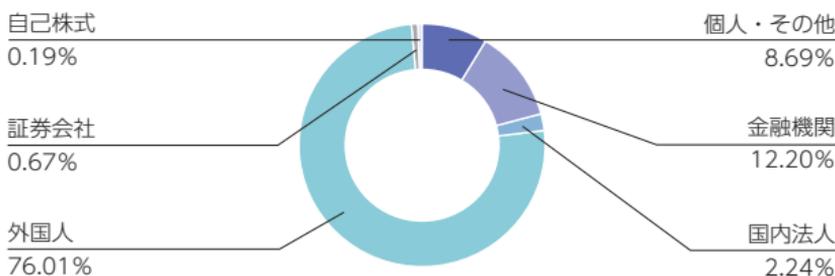
■ 総資産 ■ 純資産



株式の状況 (2022年12月31日現在)

発行済株式の総数	96,292,401株
発行可能株式総数	200,000,000株
株主数	6,626名

所有者別分布状況 (株式数)

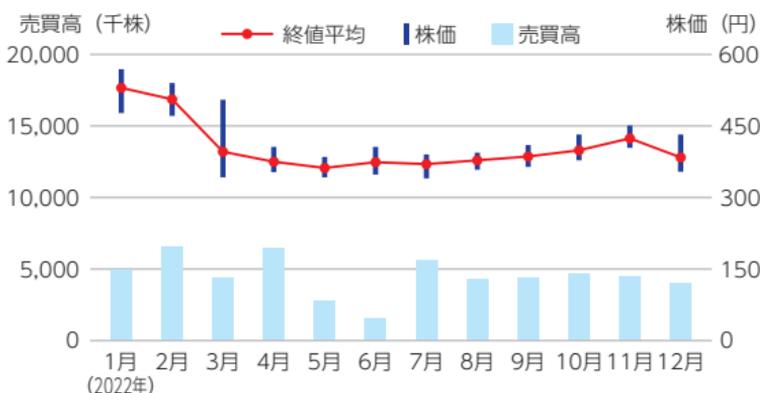


大株主 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
ヴァレオ・パイエン	58,791 千株	61.16 %
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	5,448	5.66
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	4,271	4.44
INVERISIS / IICS JAPAN	4,115	4.28
BBH (LUX) FOR FIDELITY FUNDS-PACIFIC POOL	1,548	1.61
ダイハツ工業株式会社	1,076	1.11
日本生命保険相互会社	988	1.02
JP MORGAN CHASE BANK 385781	651	0.67
NOMURA INTERNATIONAL PLC A / C JAPAN FLOW	583	0.60
BNP PARIBAS LUXEMBOURG / 2S / JASDEC SECURITIES / UCITS ASSETS	532	0.55

- (注) 1. 持株比率は自己株式 (179,414株) を控除して計算しています。また、表示単位未満を切り捨てて表示しています。
 2. 発行済株式の総数の10分の1以上の数を保有する大株主1名を含め、上位10名の株主を記載しています。
 3. 株式会社日本カストディ銀行の所有株式のうち、信託業務に係る株式数は、5,448千株であります。

株価および株式売買高の推移



(要約) 連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度 2022年12月31日	前連結会計年度 2021年12月31日
資産の部		
流動資産	63,280	48,160
固定資産	62,634	64,360
有形固定資産	41,656	45,352
無形固定資産	859	995
投資その他の資産	20,118	18,013
資産合計	125,915	112,521
負債の部		
流動負債	58,485	49,290
固定負債	12,421	13,706
負債合計	70,907	62,997
純資産の部		
株主資本	56,096	51,511
その他の包括利益累計額	△1,762	△2,590
非支配株主持分	673	603
純資産合計	55,007	49,523
負債及び純資産合計	125,915	112,521

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

[会計方針の変更]

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度	前連結会計年度
	2022年1月1日から 2022年12月31日まで	2021年1月1日から 2021年12月31日まで
売上高	135,451	125,510
売上原価	112,253	100,740
売上総利益	23,198	24,770
販売費及び一般管理費	19,260	19,207
営業利益	3,937	5,562
営業外収益	1,926	1,525
営業外費用	512	581
経常利益	5,351	6,506
特別利益	0	11
特別損失	943	489
税金等調整前当期純利益	4,408	6,028
法人税等	△94	1,978
当期純利益	4,502	4,049
非支配株主に帰属する当期純利益	78	66
親会社株主に帰属する当期純利益	4,423	3,983

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度	前連結会計年度
	2022年1月1日から 2022年12月31日まで	2021年1月1日から 2021年12月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,005	9,209
投資活動によるキャッシュ・フロー (△は減少)	△5,912	△6,684
財務活動によるキャッシュ・フロー (△は減少)	△4,404	△2,350
現金及び現金同等物に係る換算差額 (△は減少)	223	119
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,910	293
現金及び現金同等物の期首残高	5,720	5,426
現金及び現金同等物の期末残高	8,631	5,720

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

2022年『Nissan Global Supplier Award - Innovation Award』2年連続受賞！

ARIYAのリアランプ“Invisible Lighting”を実現



ICHIKOHIは、日産自動車様から、ARIYAのリアランプ「Invisible Lighting」に対して、栄誉ある2022年「Nissan Global Supplier Award - Innovation Award」を受賞しました。2021年度のノートの「廉価型4眼LEDプロジェクターヘッドランプ」に続き2年連続受賞となりました。

同賞は「商品力向上や、ブランド力向上につながる革新的な取り組みの実践によって、業績に貢献をしたサプライヤーを表彰する」という趣旨のもとに年1回実施されるものです。

本製品は、ブラックアウトされたリアランプから特徴的なグラフィックが鮮明に浮かび上がることにより、次世代EVを象徴するようなデジタル感のある先進的な意匠表現を世界初の技術を用いて実現したものです。具体的にはアウターレンズに光の特定波長を吸収する顔料・染料を複数添加し、従来の蒸着では実現できなかった特定波長のみを透過させることに成功しました。

消灯時と点灯時の視覚的な差が大きい“Invisible Lighting”はデザイン性のみならず安全性への寄与にもつながるイノベーションとしてその革新性を高く評価されました。

これからもICHIKOHIは、先進的な開発に意欲的に挑戦し、自動車と交通環境の未来に貢献してまいります。



受賞したARIYAのランプの消灯点灯／状態

ミラー事業は新たなステージへ

世界大手のミラー事業会社SMR社へ事業売却

ICHIKOHIは、2022年9月26日に、ミラー事業をインドのマザーソングループのミラー事業会社SMR Automotive Mirrors UK Limitedに売却することを決定いたしました。この決定は、①ミラー事業の中長期の発展基盤を確立すること、ならびに、②ICHIKOHIグループがライティング事業に選択と集中を図ることを目的としております。

SMR社は自動車用ミラー事業で世界第二位のマーケットシェアを有し、世界18ヶ国で事業展開するグローバル企業です。特に今後のミラーの大きな流れである電子ミラーのパイオニアとして技術開発力に優れ、コスト最適化、快適性の向上、安全性の向上およびユニークなスタイリングのソリューション・プロバイダーとしての実績があります。

ICHIKOHIのミラー事業にとってはこれらの価値ある事業資産を得ることにより、グローバルな対応力の強化、次世代電子ミラー等の新製品開発能力の強化、価格競争力の強化を成し遂げ、中長期的な事業の発展基盤を構築し、また、保有する日系OEM取引先との関係を活かすことにより、SMR社およびマザーソングループとしてさらなるグローバルネットワーク基盤の強化が期待されます。

一方ICHIKOHIは、主力のライティング事業へ戦略的に集中し、自動車産業の変革期におけるテクノロジーリーダーとして、競争力をさらに強化し、認知度を高め、収益を獲得し、Valeoグループとしてのシナジー効果が高い分野へ事業を注力してまいります。

1965年からミラー事業を開始し、ドアミラー、世界初の電動格納ミラー、日本初のアラウンドビューモニターカメラ内蔵ドアミラー、カメラモニターシステムインナーミラー等を生み出してきた誇りある事業の新たなステージでの発展をICHIKOHIは期待しています。



ミラー製造所

会社概要 (2022年12月31日現在)

商号	市光工業株式会社
設立	1939 (昭和14) 年12月20日
資本金	8,986,364,953円
従業員数	連結 3,521名 (1,335名) 単体 1,740名 (802名)

(注) 従業員数は契約期間に定めのない従業員であり、パートおよび派遣社員など、契約期間に定めのある従業員は () 内に期間中の平均人員を外数で記載しています。

本店 〒259-1192 神奈川県伊勢原市板戸80番地
TEL 0463 (96) 1451 FAX 0463 (96) 2080

ホームページのご案内 会社案内、新製品情報、採用情報、株主・投資家情報などの企業情報を掲載しております。
<http://www.ichikoh.com/>

事業所

本社・テクニカルセンター	〒259-1192 神奈川県伊勢原市板戸80 TEL 0463 (96) 1451
伊勢原製造所	〒259-1192 神奈川県伊勢原市板戸80 TEL 0463 (96) 1451
厚木製造所	〒243-0214 神奈川県厚木市下古沢857 TEL 0462 (90) 4754
藤岡製造所	〒375-8508 群馬県藤岡市東平井1467 TEL 0274 (23) 2211
ミラー製造所	〒375-8507 群馬県藤岡市藤岡1360 TEL 0274 (23) 2121
中部支店 (名古屋テクニカルセンター)	〒468-0011 愛知県名古屋市中白区平針1-117 TEL 052 (848) 6002
東京営業 (アフターマーケット部)	〒162-0814 東京都新宿区新小川町5-19 TEL 0463 (43) 7225
太田営業所	〒373-0851 群馬県太田市飯田町1245-1 TEL 0463 (43) 7210
大阪営業所	〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-16-3 TEL 0463 (43) 7242

取締役および監査役 (2023年3月24日現在)

代表取締役会長	オードバディ アリ
代表取締役社長	ヴィラット クリストフ
代表取締役副社長	宮下和之
取締役	白土秀樹
取締役	マルテネッリ マウリッツオ
取締役	ペレス ラウール
社外取締役	青松英男
社外取締役	ラヴィンニュ ジャンジャック
常勤監査役	加藤伸曜
社外監査役	鶴巻 暁
社外監査役	スベストル ピエール

株主メモ

事業年度	毎年1月1日から同年12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
剰余金配当支払株主確定日	毎年12月31日
中間配当金支払株主確定日	毎年6月30日
基準日	毎年12月31日 (そのほか必要があるときは、あらかじめ公告いたします。)
公告掲載方法	当社ホームページ http://www.ichikoh.com/
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店 および全国各支店で行っております。
単元株式数	100株

- 住所変更、単元未満株式の買取のお申し出先について
株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。
- 未払配当金の支払について
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

ホームページのご案内

会社案内、新製品情報、採用情報、株主・投資家情報などの企業情報を掲載しております。

<http://www.ichikoh.com/>



ICHIKOH

a Valeo company

市光工業株式会社

〒259-1192 神奈川県伊勢原市板戸80番地

TEL.0463-96-1451 FAX.0463-96-2080

URL : <http://www.ichikoh.com/>

UD
FONT

見やすく読みまちがえ
にくいユニバーサル
デザインフォント
を採用しています。

